彙報

就任の辭

花・愁を含み、鳥・歌を輟め、世の中黒みわたりつゝ春の暮れ行く頃、思ひもかけず、本會の爲に微力を致せと承つた。我々同人は、一度は驚き、一度は惑ひ、いよ／＼決心して御受いたしますまでにはや躊躇したのであります。

何故かと申しますと、此頃中我々の聞くところでは、此の會をもつと生々したものにしたいといふことでありますが、それはとても我々の微力を以て當り得ることではないからであります。之は一つに會員皆々一致協力に待つべきことかと存じます。會員諸君の會全体が協力するには會の事業の計畫を明にし、會員諸君の批評を求め、進んでこれを實行せねばならぬ。實行の任務は幹事の專ら當るべきところでありますが、計畫や批評は、會員全部の心を表現するやうにせねばなりませぬ。我々同人が本會の幹事として任に就きますならば、先づ最初にこの點に於て會員全体の御意見を承る必要を切に感ずるのであります。その爲には、先づ我々同人が自ら大体の意見を定めねばならぬと存じまして、數回會合して種々協議致しまして、概ね次のやうな計畫を立てました。

會計事務については暫く之を略し、先づ講演と會誌とについて申します。

講演に就いて多くの方の希望は短時間に多人數の話し得る樣にと云ふ事であります。これは本會の目的に近い方法で矢張り今後は此方針に從つて見たいと思ひます。其内容に就いては單に學術的研究の發展と云ふ外廣義に解釋して、朗讀、講話、等をも加へ度いと思ふのであります。又其外方法としてはこれ迄の樣に順番が定めてあつて、その順が廻つて來た時に談話すると云ふ樣な事ばかりでなしに、自發的に進んで談話せらるゝ樣にしたいと存じます。また會員諸君は自由に活潑に、謝儀的精神を以て論評せらるゝやうにありたいと存じます。

會誌は今度は綱目を多少變更いたしたいと思ひます。綱目の如きはあまり變更すべきものでないことは勿論でありますが編輯の便宜上及び印刷の都合上

（本號から体裁をも變更しましたが、それは一定の紙數を最も有效に用ゐたいといふ實際的目的からいたしましたので、決して時項を逐ふ如き考を微塵も含んでは居りません）講演、感想等を一團とし、論説、談叢、文苑、彙報に分ちました。講演、研究、感想、についてゞ是非進んで研究の結果を寄書せられん事を切望いたします、談叢は日進月歩の思潮學術上、又敎育上の是非知て置かなければならぬ問題であつて、專門的智識參考書を要するやうな事項を、最も適當な方に談話をお願ひしてお報導したいと思ふのであります。追々にこの計畫が熟しましたら、地方に居らせらるゝ賛助員の方からの御尋ねをも伺ひまして、御答への出來ますまでに致して見たいと存じます。詮ずるところはこの欄を最もよく利用して、我が會員諸君の爲めに多くの參考の資料を集めたいと思ふのであります。文苑についても同樣寄書を望みます。其の作品は製作的良心に訴へる外何等の約束をも前以て申し上げませぬ。自由に活潑に進んで筆を執つていたゞきたい。

要するに我々委員の者はどうしたならば、會全体の心を表現する事が出來るかと云ふ事に苦心いたしまして、やう／＼以上の計畫を立てたのでありますが、これについて是非諸會員の批評と助力とを待つ外はないのであります。諸會員は直接事に當る者をして充分働き得る樣に、助力せられ批評せられ、各自の意志を充分に發表しさうして相共に協力して、本會の發展を謀る事に努力せらるゝ樣に切望するのであります。我々同人は全力を盡くして事に當り、會員各位の御報導によりていさゝかでも「會の心」を表現したいと存するのであります。我々同人の協議の結果を申し上げまして批評を乞ひ且つこれを以て就任の辭に代へたいと存じます。

もう中夏が近ついて來ました。天地は強い光と鮮かな色に生々して居ります。我々は今、初めて編みました會誌を謹みて皆樣に送るに際しまして實に無限の感慨に堪へないのであります。（高　人）